

4 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準	◇資料 指導・援助
1 江戸幕府の成立と支配の仕組み	江戸幕府の藩や大名の支配の仕方を理解するとともに、大名や朝廷への統制の概要をつかみ、単元を貫く課題を主体的に追究していこうとすることができる。 ☆徳川家康 ☆江戸幕府 ☆幕領 ☆藩 ☆幕藩体制 ☆武家諸法度 ☆徳川家光 ☆参勤交代	1 年表から単元を貫く課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">260年以上も続く江戸幕府はどうやって成立し、人々をどのように支配していったのだろう。</div> 2 本時の課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">江戸幕府は、どのように全国を支配していったのだろう。</div> 3 課題に対して個人で追究し、交流する。 ・徳川家康は関ヶ原の戦いに勝利し、江戸幕府をひらいて江戸城を築いた。 ・大名には親藩、譜代大名、外様大名があった。 ・武家諸法度を定め、大名の動きを統制した。 ・三代将軍の家光は、参勤交代を制度化し、大名の経済力を弱めようとした。 ・京都を監視するために京都所司代を設置した。	江戸幕府の政治支配体制について理解し、260年余りも続く時代がどのようにして生まれたのかに関心を持ち、主体的に追究しようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	◇江戸時代の年表(教科書巻末) ◇江戸城 ◇幕領と諸大名領の割合 ◇主な大名の配置 ◇江戸幕府のしくみ ◇武家諸法度 江戸周辺とそれ以外の地域の大名配置のちがいに着目することで、江戸幕府の支配体制を理解できるようにする。
	江戸幕府は武家諸法度をもとに、参勤交代を制度化するなどの政策で大名に対して強い支配体制を作り上げようとした。朝廷に対しても、監視することで政治的な力を持たせないようにした。他にもどんな政策を行って支配をしていたのだろう。			
2 さまざまな身分と暮らし	幕府がどのように多くの人々を支配したのかを考える活動を通して、身分制度を固めたり連帯責任の方法を取り入れたりを理解し、百姓や町人とは別に差別された身分の人々がいたことの意味を考えることができる。 ☆武士 ☆百姓 ☆町人 ☆五人組	1 江戸時代の身分ごとの人口を調べ、課題を設定する。 ・農民が85%を占めているのに、武士は7%しかいない。 ・幕府は武士による政治だから、7%の武士が支配しているんだ。 ・江戸時代の身分は大きく分けて、武士と百姓と町人がある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">江戸幕府はどのように人々を支配していったのだろう。</div> 2 課題に対して個人で追究し、交流する。 ・それぞれの身分に応じて、生活の様子が異なる。 ・武士は帯刀などの特権が認められたが、武士道が課された。 ・有力な百姓は、自治を行ったほか、年貢を徴収し領主におさめた。幕府は、安定して年貢をとるために、厳しく生活を制限したり、五人組を設けたりした。 ・えた身分、ひにん身分などの人々もいた。 3 なぜえた身分、ひにん身分などの厳しい身分制度が作られたのかを考える。 ・農民に不満があるが、自分よりも下の身分に目を向けさせるためだ。	身分別の人口の割合から、江戸時代の身分とそれぞれの職や生活の様子を調べ、幕府が厳しい身分制度をつくった目的について考えている。 (思・判・表)	◇身分別の人口の割合 ◇都市と農村の支配の仕組み ◇年貢納め ◇百姓支配の方針 ◇雪駄づくり 農民の不満を、幕府からそらさせることに気付くことができるよう、身分のちがいの資料を示しながら、農民の気持ちを考えるよう働きかける。
	支配身分である武士が政治を行い、軍事的な役割を果たした。百姓が全人口の85%を占め、中でも本百姓と水のみ百姓とに分けられた。幕府は安定的に年貢を納めさせるために五人組という連帯責任を負わせ、厳しく支配した。厳しい支配体制の中でも不満が噴出しないようえたひにんの身分を作り、不満のはけ口にした。			
3 貿易の振興から鎖国へ	幕府が鎖国をした理由を考える活動を通して、キリスト教の考え方が影響していることに気づき、幕藩体制の徹底を目指して鎖国していったことを理解することができる。 ☆朱印状 ☆朱印船貿易 ☆日本町 ☆出島 ☆島原・天草一揆 ☆鎖国	1 本時の課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">江戸幕府の対外政策はどのように変化していったのだろう。</div> 2 江戸時代の対外政策の流れについて個人で追究し、交流する。 ・家康は朱印状を用い、海外との貿易を盛んに行った。東南アジアには日本町が形成された。 ・家康は貿易の利益があったため、キリスト教を黙認していたが、家光の時代には貿易も停止し、居住していたポルトガル人も出島に移し、日本人との交流ができなくなった。 ・島原・天草一揆が発生し、1639年にポルトガル船の来航を禁止したことで、鎖国が完成した。 ・禁教を徹底するために、絵踏みを行った。 3 江戸幕府がキリスト教を迫害した理由について考える。 ・キリスト教の教えが、江戸幕府の支配の仕組みとは異なるためだ。幕藩体制による国の支配を強めるために、鎖国を行った。	江戸幕府による朱印船貿易、キリスト教の禁教から鎖国に至るまでの流れを理解している。(知・理)	◇朱印船 ◇朱印船の航路と日本町 ◇朱印状 ◇島原・天草一揆 ◇鎖国への歩み ◇踏絵 ◇宗門改帳 前時までの学習を振り返ることで、キリスト教の考え方が、幕府の身分制度を用いた政策と異なり、不都合であることに気付くことができるようにする。
	幕府は、当初貿易を黙認していたが、キリスト教の教えが幕府の考えに反することから制限を加えていった。そして、1637年の島原・天草一揆を受けてポルトガル船の来航を禁止したことで、鎖国政策が進んでいった。民衆にもキリスト教徒でないことを証明させるために、絵踏みを行った。			

<p>4 鎖国下の対外関係</p>	<p>幕府の鎖国下の対外政策についての資料を読み取る活動を通して、鎖国下においてオランダ・中国と交易し、朝鮮と交流していたことを理解することができる。</p> <p>☆清 ☆朝鮮通信使</p>	<p>1 本時の課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">江戸時代の日本は、世界とどのように結ばれていたのだろう。</div> <p>2 課題に対して個人で追究し、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国とオランダは、布教活動を行わなかったため、長崎に限って貿易を行っていた。 ・幕府は風説書を提出させて、海外の情報を得ていた。 ・朝鮮からは、将軍の代がわりごとに朝鮮通信使が日本に派遣された。 	<p>鎖国政策の中でも厳重な監視のもとで、布教活動を行わないオランダや中国に限って貿易を行い、外国の情報を得ていたことを理解している。(知・理)</p>	<p>◇長崎の出島 ◇鎖国下の窓口 ◇江戸を訪れる朝鮮通信使</p> <p>オランダや中国との交流、朝鮮との交流が日本に何をもたらしているかを考えることができるようにする。</p>
<p>幕府は、鎖国政策によって海外との貿易を制限していたが、清、朝鮮、オランダとは交流があった。ヨーロッパやアジアの情勢を文書にまとめて風説書として提出させることで、幕府は海外の様子を独占し、支配体制がゆるがないようにしていた。</p>				
<p>5 琉球王国やアイヌ民族との関係</p>	<p>掟十五条やオムシヤの資料を読みとる活動を通して、薩摩藩が琉球王国を、松前藩がアイヌ民族を支配していたことに気づき、江戸幕府と琉球王国、アイヌ民族との関係を理解することができる。</p> <p>江戸幕府がどのような支配体制と整えていたのかを、単元を振り返ってまとめることができる。</p> <p>☆琉球使節</p>	<p>1 本時の課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">江戸幕府は、琉球王国やアイヌ民族とどのような関係を持ったのだろうか。</div> <p>2 課題に対して個人で追究し、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薩摩藩は江戸幕府の許可を得て琉球王国を支配していたけど、その事実は明や挑戦に隠されていた。 ・中継貿易を支配下に置いて、大きな利益を得ていた。 ・琉球国王の代わりがあると、江戸に琉球使節を送らせた。 ・松前藩は、幕府の許可を得てアイヌ民族との交易を独占した。 ・不公平な交易をしていたから、アイヌの人々がシャクシャインを中心に戦いを起こしたが負けてしまった。 ・戦いに負けたから支配体制がさらに厳しくなった。 ・オムシヤが、松前藩にとってアイヌ民族支配の手段となった。 	<p>掟十五条やオムシヤの資料を読みとる活動を通して、薩摩藩が琉球王国を、松前藩がアイヌ民族を支配していたことを理解している。(知・理)</p> <p>単元を振り返り、江戸幕府が整えた支配体制についてまとめることができている。(思・判・表)</p>	<p>◇那覇港のにぎわい ◇掟十五条 ◇琉球使節 ◇にしん漁でにぎわう江差の港 ◇オムシヤ</p> <p>掟十五条の内容から薩摩藩が琉球王国を、オムシヤの様子から松前藩がアイヌ民族を支配下においていたと考えられるようにする。</p>
<p>幕府は、薩摩藩に琉球王国の支配を、松前藩に蝦夷地との交流の独占を認めた。薩摩藩は、琉球王国の中継貿易を管理下に置いて大きな利益を得たり、琉球王国の代わりがあると琉球使節を江戸へと連れていったりした。松前藩の藩主や家臣がアイヌ民族と不公平な取引を行ったことで、アイヌ民族の指導者の一人シャクシャインを中心とした松前藩との戦いをおこしたが破れてしまい、アイヌの人々への経済的な支配はさらに厳しくなった。</p>				
<p>江戸幕府は、大名に対して、武家諸法度で参勤交代や配置換えなど、厳しく支配をしていた。また、人々への支配も武士を頂点とする身分制度をつくり、それぞれの身分に生活の規則を設けるなど、反乱をおさえるために、様々な支配の方法をとった。結果、江戸幕府は約 260 年以上も支配を続けることができたんだ。また、島原・天草一揆もあり、外交関係も厳しく制限した。1639年にポルトガル船の来航を禁止したことで鎖国が完成したが、オランダ、中国、朝鮮とは出島に限って貿易を行っていた。松前藩や薩摩藩をつかい、蝦夷地や琉球王国を支配した。</p>				